

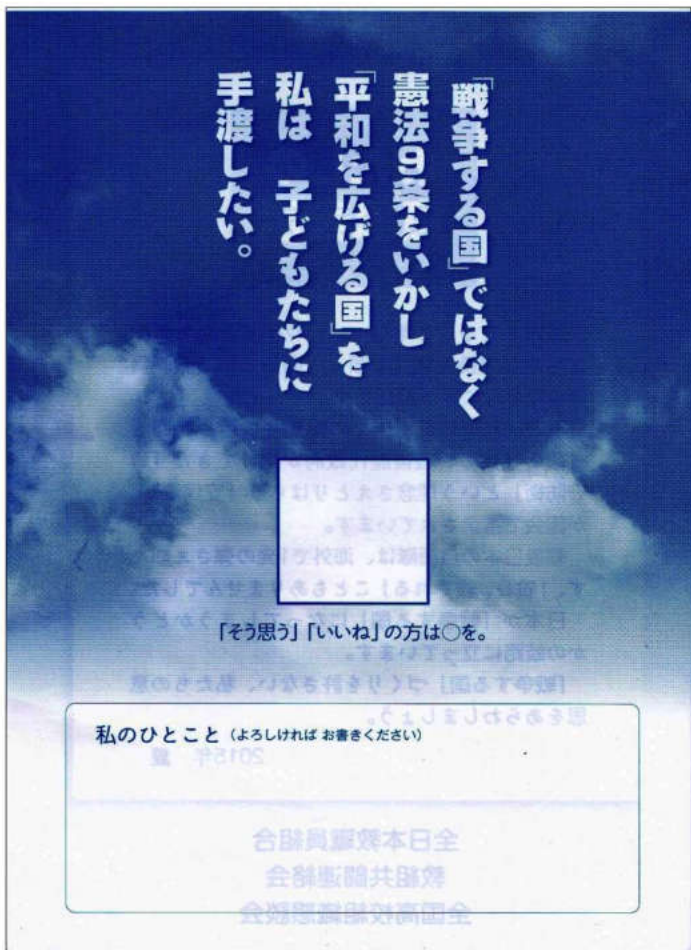
とよなか

(部内資料)

教え子を再び戦場に送るな！ 2015年6月24日発行NO. 547

子ども達の豊か
な成長・発達の
ために皆で力を
合わせましょう！

職員職場投票



憲法を守ることを誓い、子どもたちをすこやかに成長と発達を願う職員のみなさんに教

よびかけます。

現在、自衛隊の海外での活動の内容や班

を一段と拡大し、戦後歴代政府がかかげてきた「専守防衛」という理念さえとりはらう「安保法制」や「戦争法案」が国会で審議されていきます。

安倍政権は、6月9522日、戦後最長となる

「子どもたちを戦場に送らない」の 教職員の意思を示そう！

日間もの国会延長を決定しました。何が何でも「戦争法案」を強行しようとする姿勢を見せています。

戦後日本の自衛隊は、海外で一発の弾さえ撃たず、「殺し・殺される」こともありませんでした。

日本が「戦争する国」になつてしまふかどうかの岐路にたつています。「戦争する国」づくりを許さない、全国の教職員の意思を示す「教職員投票」が全教から提起されました。

豊中のすべての教職員の意思表示をよびかけます。

取り組み期間
6月24日～7月3日

歴史歪曲・憲法敵視の教科書 育鵬社・自由社版

4年に一度の中学校教科書採択の年です。すでに中学校に教科書が回ってきています。教育センターなどでも市民が見ることができるようになっています。

今回の教科書採択、今の国の戦争法案とつながっています。「あの戦争は正しかった」という国民をつくり、すすんで戦地に赴く若者を育てたい安倍首相のねらいがあります。

育鵬社歴史教科書版を読む

侵略戦争が 自存自衛の戦争

「米英に宣戦布告したわが国は、この戦争を『自存自衛』の戦争としたうえで、大東亜戦争と名づけました」

当時の政府がそう主張したという形をとりますが、「自存自衛」が嘘だったとはどこにも書いていません。日本はアメリカに圧力をかけられ、自国を守るためにやむなく戦争をしたと誤解します。世界をまきこんだ戦争が侵略だったということ

子どもに渡せない 日韓の90団体がアピール

6月2日、教科書問題・教育関係、研究者・平和・女性など日韓の団体が「歴史を歪め戦争を美化して、『戦争する国づくり』へ子どもたちを導く教科書の採択を許さない」と共同のアピールを発表しました。

をあいまいにしています。
アジア解放
独立したのは日本の功績

「日本軍の勝利に、東南アジアやインドの人々は独立への希望を強くいだきました」「欧米による植民地支配からアジアの国々を解放し、大東亜共栄圏を建設することが、戦争の名目として、より明確にかかげられるようになりました」

実際には、朝鮮は植民地のまま、占領地のうちマレーシアやインドネシアは独立させず、帝国領土としました。

この教科書を学んだ子どもたちが「日本がアジアを解放した」とアジアの人々に言ったらどうなるでしょう。

沖縄戦 集団自決記述に 軍関与なし

国内唯一地上戦となり、県民約12万人が犠牲となった沖縄戦。「戦闘がはげしくなる中で、逃げ場を失い、集団自決においこまれた人々

もいました」

集団自決が日本軍によって強いられたことの記述がありません。

「国民の多くはひたすら日本の勝利を願い、励まし合って苦しい生活に耐え続けました」

美談調の記述があるだけです。

戦後の日本 連合国の圧力を強調

他の教科書は「日本政府も、大正デモクラシーの経験などに基づいて、民主化に積極的に取り組み

ました」(東京書籍)など、民主化が国民に支持され、自由と平和になった解放感が広がったことを描いています。

GHQが「過去の日本の歴史教育や政策は誤っていたという宣伝を日本側に行わせ、報道や出版を秘密裏に検閲して占領政策や連合国への批判を禁じました」

憲法制定も「議員はGHQの意向に反対の声をあげることができ」なかったと否定的に描いています。

全教豊中教組は、憲法9条守ろう、「戦争する国づくり」反対の他の団体と共同して、「9」の日を中心に市民宣伝を行っています。

6月29日(月) 午後6時~6時半 豊中駅
7月9日(木) 午後6時~7時 豊中駅

集会

7月18日(土) 午後5時

「戦争法案は廃案に! おおさか1万人大集会&パレード」 扇町公園



6月9日の豊中駅での市民宣伝